

# 令和5年度 活動報告書

[ 大学生の力を活用した集落復興支援事業 ]

東京藝術大学 やないけん

# 目次

- I. はじめに
- II. 調査概要
- III. 集落活性化案
- IV. おわりに

## はじめに

私たちは東京藝術大学デザイン科オルタナティブデザイン研究室の修士1、2年生です。

箭内道彦教授が率いる研究室で学んでいる、学生6名によって構成されています。

今回の復興支援事業がきっかけでご縁のできた福島県霊山町掛田地区との交流を通して見えてきたことをもとに、「かけだ」を盛り上げる施策を考え、ともに走り出すための第一歩を踏み出しました。

この活動報告書では、その第一歩までの活動を記し、今後に向けての展望まで言及していくものになります。

# 調査概要

Zoom 会議を数回重ねたのち、以下の 2 泊 3 日の日程で実施。

6 人のメンバーで現地へ赴き調査しました。

---

## 工程表

9/29

14:00 霊山中央交流館着 休憩・日程説明

15:00 掛田街並み視察 河城屋・岩城呉服店・トマト

17:00~18:00 ヨッテミで商業者との懇談

18:10 霊山中央交流館で会食・自治協議会との交流

19:00~19:30 霊山太鼓遠征組見学・体験

19:30 「とまっぺ」へ移動チェックイン

9/30

8:00 朝食

9:00 移動・農家視察と懇談

12:00 道の駅で昼食 ゆっくり昼食後道の駅自由に見学

13:30 施設見学 Mt.霊山 (子供の村)・茶臼山

17:00 霊山中央交流館で休憩

18:00 会食・掛田自治協議会との交流 (高校生も参加)

3 班に分かれ交流

20:00 「とまっぺ」へ移動・宿泊

10/1

9:00 付近にある旧亀岡家住宅見学

10:30 「とまっぺ」出発

11:35 福島駅発高速バス



天蚕業を営む八島さん宅で機織り体験



ぶどう農家にて



掛田に住む高校生や掛田の皆さんと交流



霊山太鼓パフォーマンス後に体験



きゅうり収穫体験



道の駅りょうぜん 賑わっていて掛田からも近い。



## 集落活性化案

Zoomで話は聞いていましたが、実際に現地に行ってみると子供が少ない、人が集う場所が少ないなど、解決の難しい大きな課題が潜んでいることを肌で感じました。

しかし、それらを真正面から受け止めて解決していくにはとても長い道のりが必要で、高い壁です。

知れば知るほど、考えれば考えるほど難しいことばかりで悩んでしまいましたが、マイナスに目を向けるだけでなく、魅力だと思っていた掛田に住んでいる方々の個性の豊かさ、パワフルさ、温かさというプラスの部分にスポットライトを当てることもできるはずで

す。

他にも名産など魅力はありますが、まずは魅力的な掛田の方々を知ってもらうことから掛田に興味を持ってもらい、知ってもらう、「応援」してもらうことが大切だと考えました。

応援してもらうためには応援してくれる人のためのファングッズは欠かせません。

未来の掛田ファンを目覚めさせるための第一歩として、掛田の方々の似顔絵を藝大生である私たちが制作し、応援グッズに展開。  
掛田近くの道の駅りょうぜんで設置販売して興味を持ってもらうとともに、かけだの認知度を上げていこうと考えています。

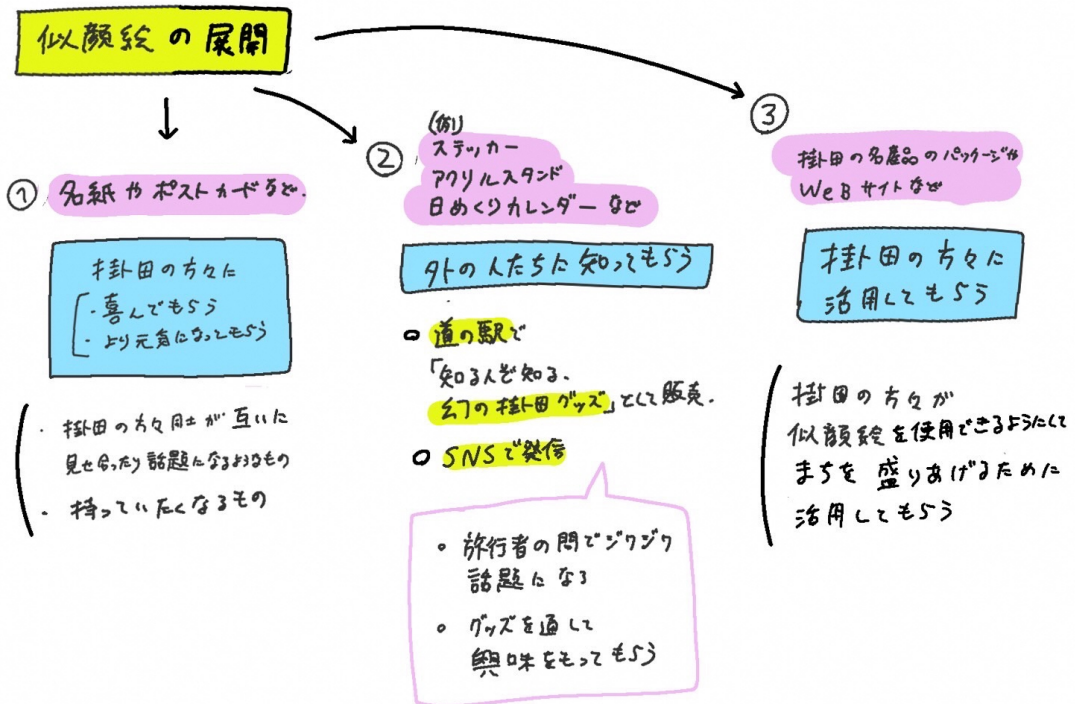


似顔絵グッズを広め、掛田の方々を藝大生が街の有名人として盛り上げることで、掛田を知らない人からも応援されるような存在に！





## 今後に向けた似顔絵の展開イメージ



## おわりに

今年度はおもに交流を深め、課題を自分たちの中で定義する段階でしたが、来年度からは形として定着させ完成したものをもとに更なる交流の輪を広げていき、掛田の方々の魅力、掛田そのもののさまざまな魅力をどんどん発信していけるよう、いっそう活動を活発にしていけたらと思います。

2023年2月28日